

地方独立行政法人大阪市博物館機構 学芸員採用試験実施要綱

《主任学芸員（係長級）・日本近現代史担当》

令和5年8月1日

地方独立行政法人大阪市博物館機構

1 試験区分・職務内容・採用予定者数・受験資格

試験区分	職務内容	採用予定者数	受験資格
学芸員	<p>大阪歴史博物館 歴史 (日本近現代史) 担当</p> <p>大阪歴史博物館で、主として日本近現代史に関する資料の調査・研究、収集・保管、展覧会等の企画・立案・展示・撤収、普及・教育、その他館の運営に必要な学芸事務の業務に従事するとともに、課長級職員を補佐しながら後輩職員の指導・育成に従事していただきます。</p> <p>なお、業務の遂行にあたっては、日本近現代史を中心とした資料に関する幅広い知識と、この分野の調査・研究に対して積極的に取り組む姿勢とともに、さまざまな課題に柔軟に対応できる豊かな経験とコミュニケーション能力を必要とします。また博物館での業務全般に対して協調性を持って積極的に組織運営に取り組んでいく強い意志と姿勢が期待されます。</p>	1名	<p>次の(1)から(3)をすべて満たす方</p> <p>(1) 昭和39年4月2日以降に生まれた方</p> <p>(2) 学校教育法に基づく4年生大学または大学院において、歴史学（日本近現代史）に関する専門課程を履修し、博物館法で定める学芸員資格を有する方</p> <p>(3) 登録博物館・博物館に相当する施設において、日本近現代史に関する展覧会実績、研究実績が5年以上あり、学芸員（係長級）としての経験を3年以上有すること</p> <p>ただし、以下の方は受験できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年被後見人又は被保佐人 ・禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者 ・日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

2 選考方法

(1) 1次選考

提出いただいた書類をもとに1次選考を行います。下記6に記載の提出書類に不備のないようにご注意ください。

選考結果は、令和5年9月20日（水）頃に到着するよう、合格者のみに電子メールで通知します。

合格者には、2次選考の受験票とともに、集合時刻・場所等の詳細について通知します。

(2) 2次選考

筆記試験を行います。

日 程 令和5年10月4日(水)

場 所 大阪歴史博物館 4階 第1研修室

※集合時刻及び場所等の詳細については、1次選考合格者に通知します。

試験方法 専門試験(記述式)

試験内容 日本近現代史及び博物館学に関する資料全般・専門知識について問います。

試験時間 2時間

選考結果 令和5年10月13日(金)頃に、合格者のみに電子メールで通知するほか、大阪市博物館機構ホームページ(採用・調達情報>採用情報)にも掲載します。

合格者には、3次選考の受験票とともに集合時間・場所等について通知します。

(3) 3次選考

面接試験を行います。

日 程 令和5年10月25日(水)

場 所 大阪歴史博物館 5階 大会議室

※集合時刻及び場所は、2次選考合格者に通知します。

試験方法 口述試験

試験内容 個別面接を行います。

試験時間 20分程度

(4) 合格発表

令和5年11月8日(水)頃までに合格者のみに電子メールで通知するほか、大阪市博物館機構ホームページ(採用・調達情報>採用情報)にも掲載します。

3 資格調査

受験資格の有無、申込書等記載事項の真否などについて行います。受験資格がないこと、提出された書類に虚偽の事実が認められた場合、その他不正行為が判明した場合には、採用の内定を取り消すことがあります。

また、採用後に虚偽の事実やその他不正行為が判明した場合は、当機構の規定により懲戒処分となることがあります。

4 採用の時期

(1) 採用は、令和6年4月1日の予定です(試用期間6ヶ月)。

(2) 採用予定日から心身の故障のため職務の遂行に支障をきたすこと、またはこれに堪えられない(継続的労務の提供ができない場合を含む)と認められるときには、採用の内定を取り消す場合があります。

(3) 辞退等の理由により採用内定者を採用できない場合は、3次選考受験者の内、成績上位者を採用する場合があります。

5 勤務条件等 ※下記条件等は、募集時点のものであり、変更する場合があります。

- (1) 雇用形態
無期雇用
主任学芸員（係長級）
- (2) 就業場所
大阪歴史博物館
大阪市中央区大手前4-1-3 2
※ただし、採用後、地方独立行政法人大阪市博物館機構が管理・運営する他の博物館等へ異動を命じる場合があります。
- (3) 給与
当機構職員給与規程により支給
・本給（参考） 月額302,528円（地域手当16%を含む）
※現時点での当機構規程等による。
・賞与 年4.43月
※令和5年度見込。ただし、勤務成績によります。初年度は採用時期により変動します。
- (4) 勤務時間
原則 9:00～17:30（うち休憩時間45分）
- (5) 休日、休暇等
4週8休（勤務シフトによります）
年末年始（原則12月29日～翌1月3日まで）の休日
年次有給休暇20日、夏季休暇、結婚休暇、育児・介護休業制度などがあります。
- (6) 昇給・昇格
あり
- (7) 通勤手当
当機構規程による。1ヶ月あたり55,000円まで。
- (8) その他の手当
扶養手当、住居手当、超過勤務手当等
- (9) 社会保険等
大阪市職員共済組合（健康保険、年金）、大阪市職員互助会、地方公務員災害補償基金、雇用保険に加入していただきます。

6 申込方法及び提出書類

次の(1)から(7)の書類を令和5年9月4日（月）17時までに「8 提出先及び問い合わせ先」の「(1) 書類の提出先」まで、電子メールで提出してください。

提出書類は、すべてPDF形式で提出してください。

※ 様式は、当機構のホームページ (<https://ocm.osaka/recruit/>)からダウンロードしてください。

(1) 職員採用申込書（様式第1）

※ 申込者本人に連絡をとることがありますので、確実に連絡の取れる連絡先（携帯電話、メールアドレスなど）を明記してください。

- (2) 大学の卒業証明書及び成績証明書 各1通
- (3) 大学院の修了（見込）証明書及び成績証明書（該当する方のみ） 各1通
※ 大学院博士課程に在学中の方は、修士課程及び博士課程両方の終了（見込）証明書及び成績証明書を提出してください。
- (4) 学芸員の資格を有することを証する書類（博物館に関する科目の単位取得証明書等）（上記(2)又は(3)と重複する場合は不要） 各1通
- (5) レポート「博物館法をふまえた今後の博物館の進むべき姿と自分の博物館活動に関する展望」（A4用紙横書き 1,000字以上 1,500字以内）
- (6) 職務経歴書（様式第2）
- (7) 展覧会実績（様式第3）
- (8) 修士論文・博士論文・学術論文・学会発表・調査報告書等の業績がある場合には、その業績リスト1部及び代表的な論文1編（様式第4）

7 その他

- (1) 車いすを使用されているなど、身体等の事情により、試験会場等に配慮を必要とされる方は、申込みの際に下記8に記載の事務局総務課までご連絡ください。
- (2) 地方独立行政法人大阪市博物館機構は、文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会の科学研究費補助金を申請できる研究機関に指定されています。詳しくは「KAKEN-科学研究費助成事業データベース」をご参照下さい。
- (3) 可否結果については、受験者本人以外には通知しません。また、電話やメール等でお問い合わせいただいてもお答えできません。
- (4) 日本国籍を有しない方で、採用時に当該業務に従事可能な在留資格がない場合には採用されません。
- (5) 3次選考に合格された方で職歴を有する方は、在職証明書を提出していただきます。3次選考合格通知時に、在職証明書を送付しますので、合格者自ら勤務先等に提出し、証明を受けた上で、当機構まで提出してください。
- (6) 受験に際して当機構が収集した個人情報、職員採用試験の円滑な遂行のために用い、大阪市個人情報保護条例に基づき適切に管理します。
ただし、採用された方のものについては、採用後の人事管理等に使用します。

8 書類の提出先等及び問い合わせ先

- (1) 書類の提出先等
 - ア 送付先メールアドレス daihaku-saiyo@ocm.osaka
各選考における合格者への通知は、提出書類をお送りいただいたメールアドレスに返信しますので、上記のメールアドレスが受信できるように設定をしておいてください。
 - イ 電子メール記載事項
 - (ア) 件名
試験区分：主任学芸員（係長級）【大阪歴史博物館】
 - (イ) 本文
住所、氏名
 - (ウ) 添付ファイルについて

すべて PDF 形式とし、各ファイルには提出書類名を付してください。

(2) 試験に関する問い合わせ先

地方独立行政法人大阪市博物館機構事務局総務課

〒540-0008 大阪市中央区大手前4丁目1-32

電話 (06) 6940-4330 (担当：迫本)

※お問い合わせは、土曜日・日曜日・祝日・年末年始（12月29日～翌1月3日）を除く平日の9時30分から17時までをお願いします。